



—えべつ市民カレッジ—

2024「ふるさと江別塾」

市と市内四大学の連携協力により、大学が保有する専門的知識と人材を活用し、充実した学習機会の場として、「ふるさと江別塾」を開講します。

各回定員100名・受講料無料です。

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

【申込方法】各回の10日前までに、メール、FAX、電話でお申込みください。※電話の受付時間は平日の9時から17時までです。

第1回

10月5日(土)

開講式 9:15~9:30

講義
1

9:30~11:00

講義
2

11:10~12:40

酪農学園大学

会場／黒澤記念講堂

災害に困らない動物飼育

獣医学群 獣医保健看護学類 教授 川添 敏弘 氏

ペットの防災対策について

北海道立動物愛護センター 所長 山中 恭史 氏

第2回

10月19日(土)

講義
1

9:30~11:00

講義
2

11:10~12:40

札幌学院大学

会場／江別キャンパスB館1階 B101教室

堕胎と優生思想

法学部 教授 岡田 久美子 氏

鉄砲と「海」の日本史

人文学部 教授 諸 洪一 氏

第3回

10月26日(土)

講義
1

9:30~11:00

講義
2

11:10~12:40

北翔大学

会場／校舎棟7号棟 722教室

学校部活動の地域移行に向けて

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教授 永谷 稔 氏

子どもたちの体力とエアロビクス運動

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 講師 今 竜一 氏

第4回

11月2日(土)

講義
1

9:10~10:40

講義
2

10:50~12:20

北海道情報大学

会場／校舎棟2号館 211教室

アリストテレスの政治哲学

情報メディア学部 教授 三浦 洋 氏

日常生活に役立つAI(生成AI活用入門)

情報メディア学部 教授 隼田 尚彦 氏

閉講式 12:20~13:00

市民カレッジ学位授与式

＜主 催＞ 江別市・江別市教育委員会

※えべつ市民カレッジ受講シールは、1講義ごとにお渡しします。

※閉講式に合わせ、市民カレッジの学位認定者に終了証の授与式を行います。

※全8講義の受講者には閉講式で修了証をお渡しします。

お申込みは江別市教育委員会生涯学習課(江別市高砂町24-6)

TEL 381-1062 FAX 382-3434

e-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

〈講義内容〉

第1回 10月5日(土)

酪農学園大学 会場／黒澤記念講堂

江別市文京台緑町582番地（社会連携センター地域連携課）
電話011-388-4131



講義
1

9:30~11:00

災害に困らない動物飼育

獣医学群 獣医保健看護学類 教授 川添 敏弘 氏

【講義内容】大規模災害の時、困らないようにするにはどうすれば良いでしょうか。飼い主としての備えは大切です。そして、突然の環境変化にストレスを少なくするにはどのような飼育が必要なのか考えます。多頭飼育の場合はどうすれば良いでしょうか？車中泊での避難で気をつけることは何？など、疑問点がたくさんあると思います。できる限り、解決していきます。“こうあるべき”という魔法のような答えはありません。自分の飼育動物に合った飼育方法や災害を意識した適正飼育について考える機会を提供いたします。

【プロフィール】家畜診療を7年行った後、臨床心理士の資格を取得。幼児の環境教育担当として大学教員となる。その後、学校飼育動物の研究をきっかけに人間動物関係学を専門とし、重度行動障害者の行動変容（アニマルセラピー）にも取り組んできた。その実績で博士号（横浜国立大学）を取得。フィールドワークが得意で、2020年から酪農学園大学（母校）に戻り、人と動物の共生社会をつくる取り組みに参加する。北海道立動物愛護センターの設立に関わり、他にも飼い主が笑顔になれる地域づくりの企画に参加している。

講義
2

11:10~12:40

ペットの防災対策について

北海道立動物愛護センター 所長 山中 恭史 氏



【講義内容】近年、我が国では地震や洪水などの災害発生が相次いでいます。災害時には、ペットとの同行避難が原則とされており、円滑な避難には飼い主の皆様による日頃からの備えが重要です。本講座では、過去の災害で行われた被災動物救護対策や、いざというときに備えたペットの「しつけ」や「健康管理」などを紹介し、適切な避難行動への理解を深めていただきます。

【プロフィール】昭和45年、江別市生まれ。江別第二小学校、野幌中学校及び札幌啓成高校を経て、酪農学園大学獣医学部に入学。卒業後は、製菓会社に勤務後、北海道庁職員となり、厚生労働省への派遣をはじめ本庁、保健所及び食肉衛生検査所など幅広い部局に勤務。現在は、本年4月1日から運用開始された北海道立動物愛護センター所長として、犬猫の譲渡をはじめ、ペットの適正飼養や防災対策の普及啓発に取り組んでいる。趣味は仲間との宴会。

第2回 10月19日(土)

札幌学院大学

江別市文京台11番地（教育支援課）
電話011-386-8111

会場／江別キャンパスB館1階 B101教室



講義
1

9:30~11:00

堕胎と優生思想

法学部 教授 岡田 久美子 氏

【講義内容】最高裁判所は7月3日、障害をもつ人に不妊手術を強いた旧優生保護法が憲法に違反するものであり、重大な犠牲を求める優生施策を実施してきた国の責任を認めました。「優生保護法」は「母体保護法」に改正され、強制不妊手術の根拠となる規定は削除されました。では、子を産むか否かを人が自分で決めることは、できるようになっているのでしょうか。もしも憲法が改正されたならば、その内容しだいでは優生保護法時代に回帰する可能性もあります。どのような課題があるか、みていきましょう。

【プロフィール】神奈川県出身。一橋大学大学院博士後期課程退学。1998年から札幌学院大学教員。刑事法学を専門とし、性犯罪をめぐる刑罰法規のあり方や事実認定のあり方について、研究してきた。

共著に、北海道ジェンダー研究会編『ジェンダーで読み解く北海道社会』（明石書店、2022年）

講義
2

11:10~12:40

鉄砲と「海」の日本史

人文学部 教授 諸 洪一 氏



【講義内容】日本は四方を海に囲まれている島国です。縄文時代や弥生時代以来、日本人と「海」とは切っても切れない不可分の関係をもちながら発展してきたはずですが、ところが小・中・高校の歴史教科書に「海の歴史」はほとんど登場しないのではないでしょうか。四方を海に囲まれている日本の歴史に、その「海の歴史」が抜け落ちていることは、日本の歴史の多様性と豊かさにも欠けているといわざるをえないと思います。この講義では「鉄砲」を題材として、日本の「海の歴史」について考えてみたいと思います。

【プロフィール】韓国・鎮海出身。1988年4月、文部省研究留学生として来日。1995年4月、九州大学文学部助手。1998年3月、九州大学文学研究科博士課程修了、博士（文学）。2002年4月、札幌学院大学教授。

専門は、日本近代史、日韓関係史、アジア史。所属学会は、史学会、日本歴史学会、九州史学会、九州大学朝鮮学研究会、東アジア近代史学会。

第3回 10月26日(土)

北翔大学

江別市文京台23番地（地域連携センター）

電話011-387-3939

会場／校舎棟7号棟 722教室

講義
1

9:30~11:00

学校部活動の地域移行に向けて

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教授 永谷 稔 氏



【講義内容】文部科学省では、教員の働き方の改革として、令和5年から7年までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すよう、各自治体に求めています。

こうした状況において、これまでの部活動をそっくりそのまま地域へ移行することは不可能です。むしろ、新たに子どもたちにとってより有益な運動やスポーツ活動が提供できるチャンスと捉えて、地域をあげて取り組んでいくためにはどのようにすべきか？考えたいものです。

【プロフィール】博士（経営学）博士論文：学校運動部活動の構造変化 専門分野は、体育、身体教育学、スポーツ科学。学校運動部活動、総合型地域スポーツクラブ、チーム・組織マネジメント、バレーボールなどの研究をすすめている。日本スポーツ協会の公認デベロッパーおよび公認バレーボールコーチ4として、全国のパレーボール指導者の育成、日本アンチドーピング機構のドーピングコントロールパーソンネル、日本オリンピック委員会バレーボール競技強化スタッフとして、アスリートのサポートも行っている。小中高等学校専修教員免許所有。北翔大学女子バレーボール部顧問・監督。

講義
2

11:10~12:40

子どもたちの体力とエアロビクス運動

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 講師 今 竜一 氏



【講義内容】コロナ禍以降、全国的に子どもたちの体力水準が低迷しています。本講座では北海道や江別市における子どもたちの体力状況をはじめ、体力向上に向けた江別市内の小・中学校における先生方の取り組みや、準備運動としてエアロビクスを取り入れている文京台小学校の実践事例や子どもたちの声をお届けします。また、子どもたちからお年寄りの方まで、誰もが手軽にできるエアロビクス運動の紹介もします。

【プロフィール】室蘭市出身。北海道浅井学園大学短期大学部卒業・同大専攻科修了、北海道教育大学釧路校卒業・同大岩見沢校大学院修了。幼・小・中（保体）・高（保体）各専修免許所有。2008 - 2022 の14年間、空知管内で中学校の保健体育科教諭として勤務。現職では中学・高校の保健体育科教員養成を本務として、陸上競技部の投擲コーチも務める。日本エアロビック連盟の学校体育普及委員として、体づくり運動におけるエアロビクスの授業開発や広域的な講演活動を展開。健康運動実践指導者やジュニアスポーツ指導員として、幼少期における体力調査や運動指導も行っている。

第4回 11月2日(土)

北海道情報大学

江別市西野幌59番地2（通信教育部事務部）

電話011-385-4427

会場／校舎棟2号館 211教室

講義
1

9:10~10:40

アリストテレスの政治哲学

情報メディア学部 教授 三浦 洋 氏



【講義内容】古代ギリシャの哲学者アリストテレスは、『政治学』という著作で、アテナイなど当時の都市国家の歴史などを参照しながら最善の国家のあり方について考察している。アリストテレスの考察の進め方は極めて現実的であり、最善の国制によって正義や平等を実現するには、人々の間に貧富の差がある現実を踏まえないならぬことを強調している。この講座では、貧困者と富裕者が存在する現実に対して、この哲学者がどのような政策を構想したかという点を中心に講義する。

【プロフィール】1960年、三笠市生まれ。北海道大学大学院文学研究科（哲学専攻）博士課程修了。博士（文学）。研究分野は、古代ギリシャ哲学を中心に、哲学、倫理学、芸術学にわたる。著書に、『北大 教養教育のすべて』（東信堂、2016年）所収の「地域連携型の芸術教育」、訳書に、『中世思想原典集成20』（平凡社、2000年）所収のフランシスコ・デ・トレド「アリストテレス霊魂論註解」、アリストテレス『詩学』（光文社、2019年）、同『政治学』（光文社、2023年）がある。

講義
2

10:50~12:20

日常生活に役立つAI（生成AI活用入門）

情報メディア学部 教授 隼田 尚彦 氏



【講義内容】生成AIという名前は聞いたことがあるけれど、使用したことがない方を対象とした講座です。生成AIなんて、難しそうで使う場面がない、必要ないと思われる方も多いと思います。一方で、生成AIは劇的な成長を続けており、町内会の仕事にも、趣味の学びにも、我々のちょっとした日常でも使える便利なツールになりつつあります。そうした生成AIを日常生活で活用するヒントなど、AIの「使い方」に特化した入門レベルの内容です。

【プロフィール】北海道大学大学院工学研究科博士課程修了。博士（工学）。心理学・認知科学の知見を用いて、人間の環境認知の仕組みを研究し、そこから認知症高齢者の環境研究、高齢社会のコミュニティ研究などを行ってきた。一方で、大学教育における主体的学びに関する研究も行いながら、学生の発想力を鍛える手法や学びの手法、急速に発達している生成AIの教育活用についても模索している。

ふるさと江別塾参加申込書＜FAX用紙＞

受講希望講義に✓を付けてください。(複数可)

➡

第1回 酪農学園大学

10月5日(土)

☐ 講義1 災害に困らない動物飼育

☐ 講義2 ペットの防災対策について

➡

第2回 札幌学院大学

10月19日(土)

☐ 講義1 堕胎と優生思想

☐ 講義2 鉄砲と「海」の日本史

➡

第3回 北翔大学

10月26日(土)

☐ 講義1 学校部活動の地域移行に向けて

☐ 講義2 子どもたちの体力とエアロビクス運動

➡

第4回 北海道情報大学

11月2日(土)

☐ 講義1 アリストテレスの政治哲学

☐ 講義2 日常生活に役立つAI(生成AI活用入門)

お申込日	月 日	学生番号	〈えべつ市民カレッジ生のみ〉
フリガナ		電話番号	— —
お名前			
ご住所	〒 —		

※申込書に記入いただいた個人情報は本事業以外には利用いたしません。

新規「えべつ市民カレッジ」の申込

えべつ市民カレッジ生の申込はされましたか？カレッジ生は「えべつ市民カレッジ手帳」を持ち、受講時にもらえるシールを貼ることで、自分がいつ、どんな講座を受講していたのか記録ができます。受講シールが一定の数以上になると、その数に応じて、修了書(学位)を受けられます。

手帳希望の方の方は✓をご記入ください。 ➡ ☐

生年月日	大正・昭和・平成・西暦 年 月 日 生	Eメール アドレス	〈記入なしでも可〉
------	------------------------	--------------	-----------

申込書送信先／江別市教育委員会生涯学習課(〒067-0074 江別市高砂町24番地6)

FAX 011 - 382 - 3434

